

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公開番号】特開2008-135713(P2008-135713A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-260495(P2007-260495)

【国際特許分類】

H 01 F 1/44 (2006.01)

H 01 F 1/14 (2006.01)

H 01 F 1/00 (2006.01)

H 01 F 27/36 (2006.01)

【F I】

H 01 F 1/28

H 01 F 1/14

H 01 F 1/00 C

H 01 F 27/36 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月7日(2010.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

積層型軟磁性シートの製造方法であって、以下の工程(A)～(D)：

(A)少なくとも扁平な軟磁性粉末と、グリシジル基を有するアクリルゴムと、エポキシ樹脂と、エポキシ樹脂用潜在性硬化剤と、溶剤とを混合してなる軟磁性組成物を、剥離基材上に塗布し、軟磁性組成物の硬化反応が実質的に生じない温度T1で乾燥し、剥離基材を取り除いて硬化性軟磁性シートを取得する工程；

(B)該硬化性軟磁性シートを2以上用意し、それらを積層して積層物を取得する工程；

(C)得られた積層物を、硬化反応が実質的に生じない温度T2において、線圧を印加するラミネーターにて線圧力P1、線圧力P2及び線圧力P3(但し、P1 < P2 < P3)で順次圧縮する工程； 及び

(D)続いて硬化反応が生ずる温度T3において、圧縮された積層物を、面圧を印加するプレス機で圧縮して積層型軟磁性シートを得る工程

を有することを特徴とする製造方法。

【請求項2】

P1が2～10kgf/cmであり、P2が10～20kgf/cmであり、P3が20～50kgf/cmであり、面圧が10～60kgf/cm²である請求項1記載の製造方法。

【請求項3】

T1が50～90であり、T2が70～130であり、T3が140～200である請求項1または2記載の製造方法。

【請求項4】

工程(C)におけるラミネーターのラインスピードが0.1～5m/分である請求項1

~ 3 のいずれかに記載の製造方法。